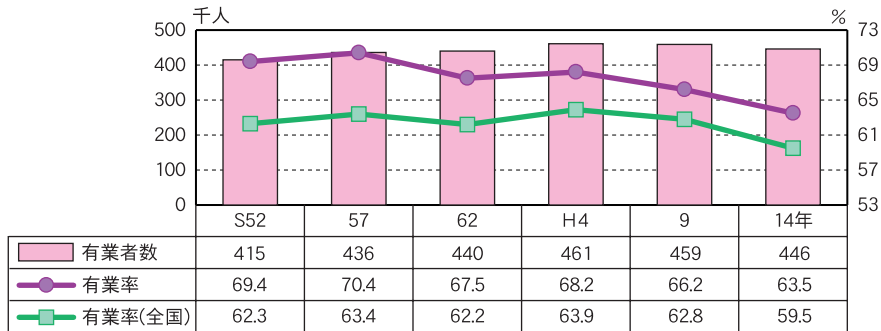


労働

★完全失業率は2.5%で2年連続 全国トップクラスとなっています。★

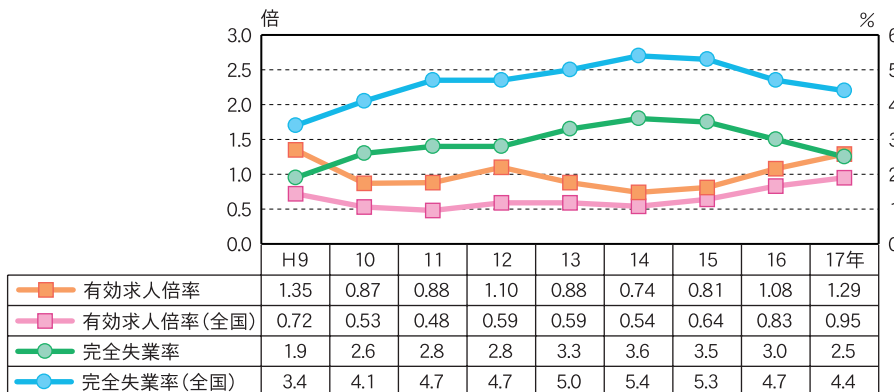
- 平成14年10月1日現在における有業者※1は446千人(男250千人、女197千人)で、有業率※2は男性が74.1%、女性が53.7%でした。男女合計の有業率(63.5%)と女性の有業率は、全国1位となっています。
- 有効求人倍率は平成15年以降上昇しており、平成17年は1.29倍で、全国平均より0.34ポイント高くなっています。
- 完全失業率も平成15年以降改善しており、平成16年は3.0%で全国1位、平成17年は2.5%で全国2位となっています。

有業者数および率の推移



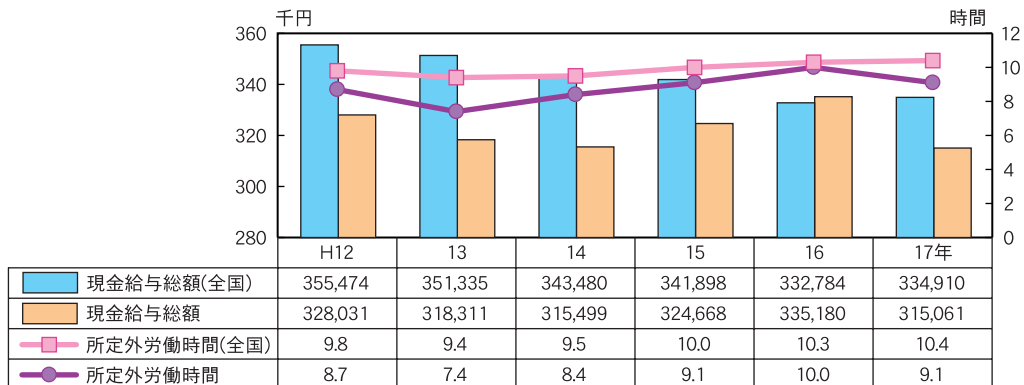
資料：就業構造基本調査報告（総務省）

有効求人倍率と完全失業率の推移



資料：一般職業紹介状況（厚生労働省）、労働力調査（総務省）

1人平均月間現金給与総額および所定外労働時間数の推移（規模5人以上）



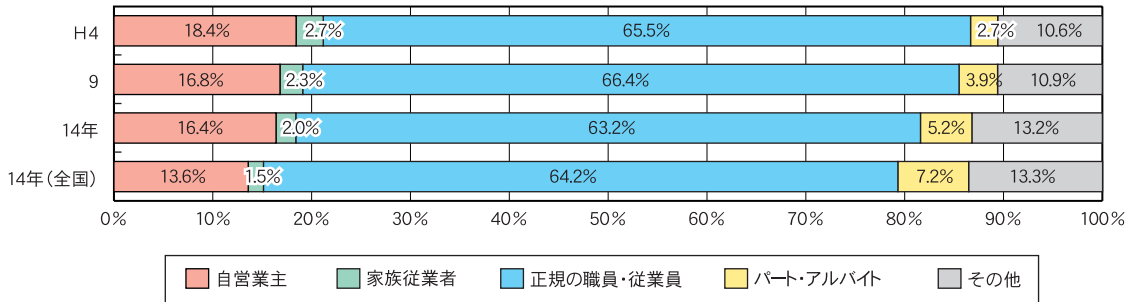
資料：毎月勤労統計調査（厚生労働省）

※1 有業者 ぶだん、収入を得ることを目的として仕事を持っている人および仕事を持っているが現在は休んでいる人
 ※2 有業率 有業者を15歳以上人口で割った数字

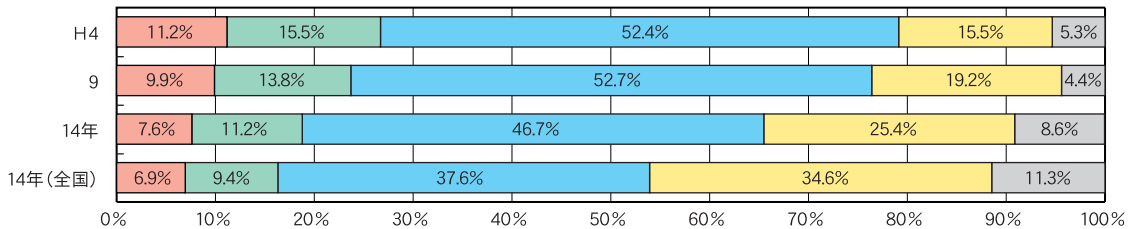
- 有業者の従業上の地位と雇用形態をみると、男女とも雇用者(正規の職員・従業員、パート・アルバイト、その他)の割合が増加し、自営業主、家族従業者の割合が減少しています。
- 雇用者の中ではパート・アルバイトの割合が増加する傾向があり、特に女性のパート・アルバイトの割合は大きく増加していますが、全国平均よりは9.2ポイント低くなっています。

従業上の地位、雇用形態別有業者数

(男)



(女)



資料：就業構造基本調査報告（総務省）

◆コラム◆ 福井の女性は働き者

「福井の女性は働き者」といわれますが、これを示す全国第1位のデータには、次のようなものがあります。

●労働力人口比率(平成12年国勢調査)

労働力人口とは、就業者(主に仕事、家事などのほか仕事、通学のかたわら仕事、休業者)と仕事を探している人(完全失業者)を合わせたものです。労働力人口比率は、労働力人口を15歳以上人口で割った数字で、福井県の女性の労働力人口比率は、54.0%で全国1位です。

●有業率(平成14年就業構造基本調査)

有業率は、仕事を探している人を除き、実際に仕事を持っている人のみを対象としている点で労働力人口比率と異なります。本県の女性の有業率は、53.7%で全国1位です。

●夫婦のいる一般世帯数に占める夫婦とも就業の割合(平成12年国勢調査)

一般に「共働き率」といわれる数字で、60.5%で全国1位です。なお、夫婦のいる世帯のうち、夫が非就業で妻が就業している世帯の割合は3.2%で、全国平均と同じ割合になっています。